

|し|ま|ね|海|洋|館|機|関|誌|

# 神話の海から

Vol. 42  
2026

特集

## みんなとみらいへ



アリアス  
AQUAS

アクアスは、地域での学びを实践する場としてさまざまな学校と活動をしています。その取り組みについて、紹介します。

**連携協定** 活動の継続と拡大を進めるため、さまざまな学校と連携協定を結びました！

**島根県職業能力開発短期大学校 (ポリテクカレッジ島根) との連携協定**

**水中ドローン登場!**

2023年12月と2025年12月にペンギン館で水中ドローンを活用したオンライン中継を実施しました。



ものづくりを通じて、地域課題の解決を進める生徒の実践の場となっています。この取り組みは、アクアスの魅力アップや学生の人材育成に活かされています。

**メッセージボード設置**

2023年3月アクアスの最寄り駅 JR波子駅駅舎内にてメッセージボードを設置しました。



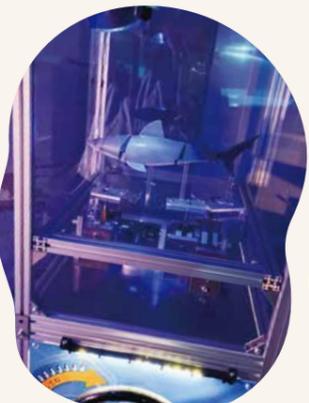
**特別展示室内 内装制作**

2024年、2025年アクアス夏の特別展示室内の内装制作を担当しました。



**「ドタブカラクリ」作成!**

2025年1月神話の海大水槽前にてサメ(ドタブカ)の泳ぎ方を学べるからくり箱「ドタブカラクリ」の展示をしました。



**浜田市の学校との取り組み**

**県立浜田水産高等学校**

次こそは展示へ!

**「水高アナゴ」展示への挑戦!**

2024年度、マアナゴ漁を行う漁業実習船にアクアススタッフも乗船! 獲れたアナゴを「水高アナゴ」として展示予定でしたが、残念ながら今回はアナゴの漁獲はありませんでした。



**水高生による水族館ガイド**

**「アクアス新発見! ~水高生が教える楽しみ方~」**

2025年2月8日(土) 10:00~12:00 海の生き物好き水高生による水族館ガイドを実施しました。高校生目線のガイドにお客さん(参加者18名)もアクアススタッフも興味津々! 2時間があったという間に過ぎてしまいました。



**課題研究でアクアスを利用!**

**スマート漁業研究班**



飼育に関する知見を得るため、水族館の裏側を見学。飼育スタッフから生物育成について解説を受けました。

**骨格標本班**



島根県近海にくらす魚の骨格標本を作製。「石見万葉の磯」前で展示しました(2025年1月)。実際に泳いでいる魚と骨格を見比べることができる展示、お客さんにも大好評でした!

**江津市内の県立高校3校などでつくるコンソーシアムとの地域活性化包括連携協定**

**江津工業高等学校**

**アクアスハロウィンナイト**

アクアスハロウィンナイトでのアクリル切符や灯籠作成と「遊べるコーナー」の運営をしました。



**アクアスで文化祭**

2024年の文化祭をアクアス広場に開催しました。



**各種製作物での協力**

2024年からはお正月用の木製干支コースター、2025年にはアクリルスタンドなどを作成しています。



**江津清和養護学校**

**ICTを活用した学習**

情報通信技術(ICT)を活用したリモート学習を実施しました。 ※ICTとは、ITにコミュニケーションの要素が含まれたもの。



**江津高等学校**

**文化祭でステージ出演**

アクアスでのイベントを通じた学びや、総合的な探究の時間での学習を通じ、教育の魅力化や地域課題の解決に取り組んでいます。



2024年江津工業高等学校の文化祭でステージ出演

どんな標本に仕上がるか、乞うご期待!

この取り組みを引き継いで...

**今年度は、なんと「リュウグウノツカイ」の骨格標本作りに挑戦!**

2026年春の特別展「うみのほねほねミュージアム」での展示に向けて、作成に取り組んでいます!



## その他、学校との取り組み

それぞれ、各学校への学習支援も取り組んでいます。

子どもたちは、生き物が大好きです。しかし、その子どもたちを取り巻く環境とその未来は、決して楽観視できるものではありません。そして、現代の子どもたちの生活の場は自然の中ではなく、生き物のくらしを知る機会は減少しています。

水族館には本物の生き物がいます。それを活かして、子どもたちに生き物について知ってもらいたい。その上で、将来の行動を決定してもらいたい。そういった思いから、子どもたちの学習支援に取り組んでいます。

### こんな学びのお手伝い(一例)

国語科  
「ヤドカリとイソギンチャク」  
を題材に共生のお話



理科の授業で  
実物を観察



身近な生き物観察の指導



## 特別支援学校との取り組み

島根県では、特別支援教育でのICT活用が試みられています。特別支援学校の児童生徒は、身体の障がいや病状により生活に制限があり、体験的な活動や現地へ出かけて学ぶ経験が少なくなる傾向にあります。アクアスでは様々な機関と連携して、実物の強みを活かしながらICTも活用した取り組みを行っています。

### 病棟からアクアス遠足

実物資料も学校へ届けて、体験的な学びとなるように工夫しました。



教室から観察会に参加して学びあい

感想を人に伝え、体験を共有する活動となりました。



### オンラインでいくつかの学校を結んで学びあい

個々の特性に合わせた学びを重視する一方で、他の子どもと意見を交わす機会もつくりました。



学生たちの努力の成果や素晴らしい技術を、より多くの方に伝えられるお手伝いができればと思います。

学習支援を通して、自分たちがくらす島根の豊かな自然を伝えていければと思います。いずれ島根から離れたとしても、自分の故郷を大切に想う気持ちに繋がれば嬉しいです。

## アクアスを支えるアクアサポーター



「アクアサポーター」をご存じでしょうか。  
アクアスで活動するボランティアさんのことです。

水族館の大切な役割の一つとして、教育事業があります。アクアサポーター制度もその一つで、主に生涯学習の場を提供することを目的としたボランティア組織です。館内解説や事業補助に留まらず、アクアサポーターを主体としたイベントの実施などを通して、学習意欲の向上や生き甲斐としての活動を目指しています。

水族館が好きなお方、生き物が好きなお方、人と接するのが好きな方など、15歳(高校生)以上の方が登録し、必要な研修を受けたのち活動をしています。

2025年11月末現在45名の方がアクアサポーターとして登録されています。アクアサポーターは、アクアスのあらゆる活動を

支援し、お客様に素敵な思い出をお届けできるように一緒に歩んでくれる無くてはならない存在です。

アクアサポーターの目印として、**アクアスロゴ入りの黄色いポロシャツ**を着て活動しています!

### アクアサポーターの主な活動

- 展示解説
- タッチプールやイベントでの生物解説と触り方の指導
- バックヤード見学などの案内やその補助
- 当館主催スクールの補助、または講師
- サポーター主催事業の実施
- その他教育事業の補助

その他「やってみたい!」を実現!

## 活動紹介

### 自然観察会の見守り隊

子どもたちと海や川などに出かけ、身近な自然や生き物を知ってもらう観察会を行っています。自然の中で生き物たちと触れ合う機会はとても貴重な経験ですが、同時に大勢の子どもたちを見るにはスタッフだけでは目が足りません。子どもたちの安全を見守ってくれる大人が増えることで、子どもたちは安心して活動することができ、わたしたちスタッフは子どもたちに見せる生き物を全力で探すことができます。



### イベント時の活動補助

アクアス館内だけでなく、館外で行われるイベント出展もサポートします。

オリジナルイラストの缶バッジ作成のお手伝いや、生き物を触ってもらうコーナーでは触り方のレクチャーを行います。



アクアサポーターの皆さんは、それぞれ色々な経歴をお持ちです。その皆さんの得意なこと、好きなことを活かして、来館される皆様にも還元できるのは、わたしたちもとてもありがたいことです。

この活動を活発にすることで、地域の活性化にもつながりたいと考えています。

アクアサポーター活動を通して地域の方との繋がりを深め、

### サポーター広場

アクアサポーターの企画するイベント(サポーター広場)も実施しています。企画の内容も、子どもたちに楽しんでもらえることを考えています。

### 最近実施したサポーター広場の内容(一部紹介)

#### 六角紙パズル

ふしぎに変わる海の生き物のパズル



海の生き物釣り  
折り紙や紙皿、紙コップなどで工作した海の生き物を使った釣り遊び

#### あなただけの海の小物入れをつくらう

色付けた紙粘土を空き瓶に貼り付け、貝殻などを飾って作る小物入れ



#### 生き物紙芝居

紙芝居だけでなく、エプロンシアターやオカリナ演奏などで雰囲気作りも!



#### 生き物スポットガイド

アクアサポーターが内容を企画し、生き物のお話をする



愛され続けるアクアスでいられたらと思っています。

### 次はあなたがアクアサポーター!?

「え、楽しそう」「もっと生き物に詳しくなりたい」など少しでも興味を持たれた方は、お気軽にアクアスまでご連絡ください。

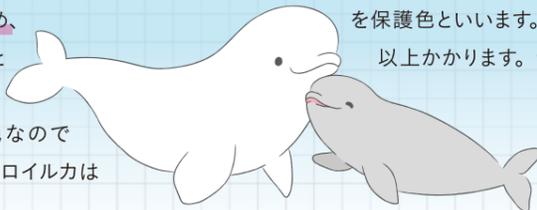
(学習交流係 永松 麻里)

## Q シロイルカの赤ちゃんは灰色なのに大人は白色なんですか？

(兵庫県 ペンネーム ゆあさん)

それは、シロイルカが野生でくらす環境にヒントがあります。シロイルカは主に北極の周りの冷たい海でくらし、その海にはたくさんの流氷が浮かんでいます。空や海底から見たとき、体が白いと流氷に紛れて天敵に見つかりにくくなるため、白色なのではないかといわれています。では、なぜ赤ちゃんは灰色なのでしょう？それは、シロイルカは

出産を河口や入り江の浅い海で行うからです。流氷のない浅瀬では、体が白いと逆に目立ってしまうので、紛れるために体が灰色だと考えられています。このように周囲の環境に紛れ込み、外敵から身を守る体色のことを保護色といいます。ちなみに真っ白になるまで10年以上かかります。今、11歳のミーリヤもまだうっすら灰色が残っているので、よく観察してみてください！



## Q ミナミトビハゼはどうして陸にいますか？

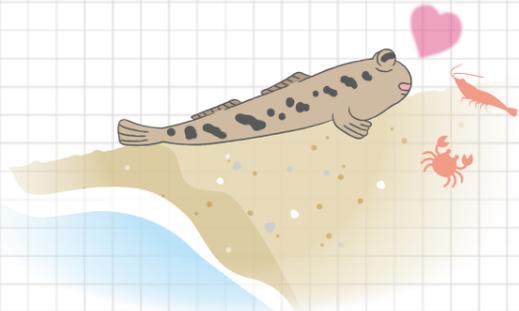
(島根県 ペンネーム あやとさん)

ずばり、「エサを独り占めできるから」です!! ミナミトビハゼは干潟と呼ばれる、潮の満ち引きによって水が満ちたりなくなったりする場所にくらすしています。

潮が引くと現れる砂や泥の中には、取り残された小さな生物がたくさんいます。潮が引いているので、当然ほかの魚たちは干潟にはたどり着くことができません。

一方、ミナミトビハゼは鰓呼吸に加え皮膚呼吸をすることもできます。さらに体の表面が乾かないように粘液で守っているので、陸上でもへっちゃらです。

ほかの魚たちがやがってこない干潟にくらすことで、たくさんエサを食べることができるというわけなのです。

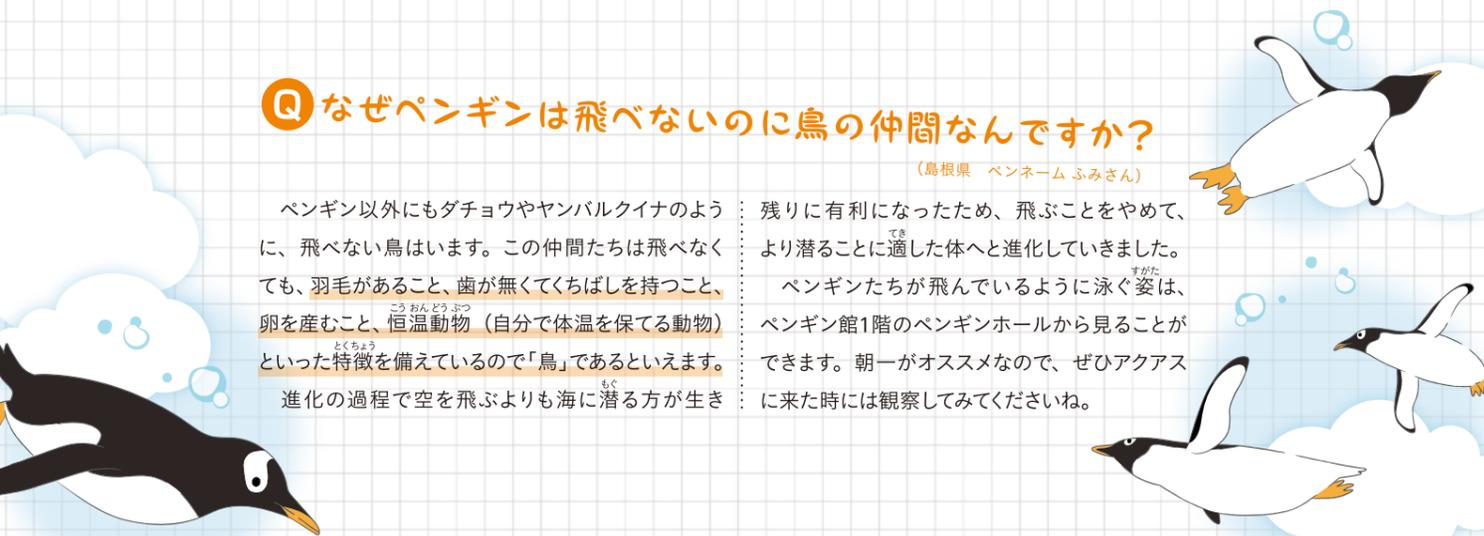


## Q なぜペンギンは飛べないのに鳥の仲間なんですか？

(島根県 ペンネーム ふみさん)

ペンギン以外にもダチョウやヤンバルクイナのように、飛べない鳥はいます。この仲間たちは飛べなくても、羽毛があること、歯がなくてくちばしを持つこと、卵を産むこと、恒温動物（自分で体温を保てる動物）といった特徴を備えているので「鳥」であるといえます。進化の過程で空を飛ぶよりも海に潜る方が生き

残りに有利になったため、飛ぶことをやめて、より潜ることに適した体へと進化していきました。ペンギンたちが飛んでいるように泳ぐ姿は、ペンギン館1階のペンギンホールから見ることができます。朝一がオススメなので、ぜひアクアスに来た時には観察してみてくださいね。



◎名前、住所、電話番号、年齢(学年)、質問を書いて

①ハガキで質問！

〒697-0004 島根県浜田市久代町1117-2 school@aquas.or.jpへメール  
しまね海洋館「神話の海から」係へ郵送 【件名は『「神話の海から」質問』

②メールで質問！

【件名は『「神話の海から」質問』

お手紙やアクアスで撮影した写真、生き物の絵なども送ってね！

※応募いただいた作品は、審査の上「神話の海から」に掲載させていただきます。また、作品の返却はいたしません。



## アクアメイトの こぼれ話

こんにちは。今回のこぼれ話は、神話の海にいるネコザメについてです。実は、今展示されているネコザメのなかまは、1種ではないのです。ネコザメとポートジャクソンシャークの2種います。どちらもネコザメ科に属していますが、よく見ると



ちがいがたくさんあります。

ネコザメは日本近海に生息し、茶褐色にこげ茶色の縞模様が入っています。一方、ポートジャクソンシャークはオーストラリア南部の海に生息し、体にくっきりとしたこげ茶色の帯模様があります。

遠く離れた海でよく似た姿に進化した2種。ポートジャクソンシャークは神話の海のトンネルの上でよく姿を見かけますので、ぜひ似て非なる姿を見比べて楽しんでみてください。(経営課 Y.Y)



私が今回のつぶやきコーナーを任せられたということは、海獣係から魚類係に異動になった心境を綴る事を期待されているのかもしれませんが、ですが、私はこのコーナーを自分の推しの布教の為に使わせて頂きます!!!

私の推しは、ゴマファザラシの『らいち』です！運命の出会いは8年前。『らいち』の第一印象は「プールにやる気なさそうに浮いているアザラシがおるなあ」でした。そんな『らいち』はトレーニングの時間になるとクリクリの瞳でこちらを見つめてくるのです。これにハートを射抜かれない人はいないでしょう！



しかし、『らいち』は万人受けする性格ではありません。なぜかというと、餌の時間以外はほぼ全てにおいて無関心だからです。

ガラス越しでも目を合わせず、おもちゃを入れても遊ばず、ゆっくり泳ぐか浮いている姿しか見かけないのです。来館されたお客様は『らいち』と認識することなく通りすぎてしまいます。しかし、重度の『らいち』依存症の私は、そんなところも愛おしいと感じてしまう末期状態です。いつか脚光を浴びる日を信じて、超絶可愛い写真を用意しましたので、皆様も癒されてください。

(魚類展示課 北濱 大士)



## 2024年生まれのペンギンたちの 命名式を行いました!

シロイルカの子どもたちと同じ年に生まれたペンギンたちの命名式を行いました！今回は年間パスポート会員のみなさんから名前を募集しました。シロイルカ共々、ペンギンの子どもたちの成長も見守ってあげてください！

募集期間 2025年10月11日～11月3日

命名式 2025年11月29日



理由：パントの色が三色団子と同じ色だから。

▲フンボルトペンギン



理由：22番だから。

▲キタイトビペンギン

## 海の生き物マルシェ

25周年を締めくくってお祭りを開催！  
海の生き物たちのハンドメイド雑貨の出店やワークショップもあるよ！  
キッチンカーもお楽しみに★



期間 2026年3月20日(金・祝)・21日(土)・22日(日)

時間 10:00～16:00

場所 お弁当広場及び2階アトリウム



